

令和2年度 学生懸賞論文 募集要項

～この懸賞論文制度は、学生の学術研究を奨励するために経済学部後援会と
長崎大学経済学会の支援によって行われているものです～

1. 論題

経済・経営・法律等の諸問題について自由に設定し、論述して下さい。なお、論題や論述内容が経済学部生としてふさわしくないもの、単なるエッセイや旅行記などは審査の対象とならない場合があります。応募論文は未発表のものに限ります。

2. 応募資格

長崎大学経済学部生（1人1編に限りますが、ゼミやグループでの応募も可）

3. 締切

令和2年11月16日（月）16時（締切日時厳守）

「提出票」を添えて完成原稿を印刷して提出するとともに、完成原稿の電子ファイルも提出して下さい。提出票には「教員による推薦」欄があり、教員（原則メンター教員ですが、他の教員も可）からの推薦をもらって応募して下さい。止むを得ず教員からの推薦を得られない場合は、その旨を東南アジア研究所1階事務室まで申し出て下さい。

4. 執筆上の注意

以下の事項が守られていない論文は、審査の対象外となることがあります。

- ① 論文原稿は日本語または英語にて執筆することとし、パソコンにて作成すること。
- ② 原稿用紙はA4用紙を縦に使用し、ページ設定は横書きにて、和文40字×30行、英文30行とする。
- ③ 原稿枚数は、図表、注および参考文献を含めて、和文15枚以内、英文25枚以内とし、原稿にはページ番号を付すこと。
- ④ 原稿には表紙、目次を付け、表紙には論題、学年、氏名、ゼミに所属する場合はゼミ名を記載すること。なお、表紙と目次は上記原稿枚数に含めない。
- ⑤ 他の文献から引用、参照した場合には、本文中に必ずその文献名、該当ページ等を明記すること。守られない場合は失格となる場合もある。
- ⑥ その他、別紙「論文の書き方」を参考にすること。

5. 賞金

1等 5万円 2等 3万円 3等 2万円

6. 審査

提出票に「教員の推薦」があったものは、論文のテーマ、内容に応じて1編につき教員2名（ゼミ指導教員、推薦教員を除く）が本審査を行います。「教員の推薦」がないものは、研究企画委員会による予備審査を行い、これを通過したものが上記本審査へ進みます。

なお、審査に際しては、以下のような評価基準に基づくものとします。

- ①註および参考文献の書き方、引用の仕方が適切であるか
- ②序文において、目的は明確に書かれているか、問題意識あるいは目的設定は妥当なものか
- ③既存研究が何を明らかにしてきた／こなかったのかを明確にするとともに、論文の意義を明確に述べているか
- ④創造力、分析力、表現力、論理的展開力、資料の利用の適正さ等において優れているか
- ⑤結論において、論文全体の要約あるいは整理がうまくできているか、また目的達成の叙述が適切であるか

7. 結果発表

令和3年1月に結果発表予定。学部内掲示および経済学部ホームページ上にて発表します。入選者には表彰式を行い賞状、賞金を授与するとともに、入選論文は「学生論文集」として刊行、配布されます。

8. 提出および問い合わせ先

東南アジア研究所 1階事務室 TEL : 095-820-6308 E-mail : ecken@ml.nagasaki-u.ac.jp